

六車町長退任挨拶

昭和四十八年七月二十五日就任以来、五期二十年になります。長い間でも気持ちの上では、あっという間に過ぎ去った様に思えてなりません。退任挨拶の文を書けと原稿用紙を渡されまして、物書きを業としていない者にとっては、苦痛の一語に尽きます。役場を辞めてから二、三カ月も経てば、あれこれと思



いで話ができると思うのですが、退任前に特別休暇どころか、助役の西川君が立候補の為止めましたので仕事が増えて、収入役と二人で天手古舞と言ったところ。就任翌月だったと思いましたが、初めて飛行機で上京しました。宮崎上空を過ぎて海上に出ましたので下を見ますと、一面に綿屑を撒いた様に見える。此は一体何だろうかと思

ので、弥次喜多道中も斯くやと可笑しくなりました。福永一臣先生の秘書が車で迎えに来てくれていました。先生に綿屑の話を書くと、君のはまだいい方だと言ひ、某町の町長さんと議長さんの話をしてくれました。有力後援者の二人が上京されたので一流ホテルに案内して翌朝早く迎えに行ったらフロントでお二人共今朝早くお立ちになりましたと言ひ、不思議に思ひました。居ないのは仕方ないと思ひ、会館に行ってみたら、二人が会館の前にしょんぼり立っている、どうしたと聞いたら、あんなホテルに泊ったら出る物も出らん、和式のトイレのある所を世話してくれと言ひたので大笑いしたと話してくれました。先生もこのお二人も疾うに故人となられました。外国旅行先で聞くノーマン・ウーさん一行の珍武勇伝だけでなく、我が町の紳士の珍談寄行については割愛します。又同年九月頃、町議会議員の国内研修があった町長も同行せよとのことでお伴しました。最初の夜は寝台車で一泊して翌日は京都市内の見学でしたが、有名な北山地区の林業もスケジュールの中にあり、バスで北山に向

いました。バスガイドの話が余り御粗末でしたので、私が替って北山林業について詳細に説明しました。それから大津に向ひ神社佛閣に参詣、最後に比叡山を見学した後で雄琴に行き一泊しましたが、夜は街中ネオンの海となり日本三大歓楽地の雄である由、真面目で純情(?)であつた私は、此処がトルコ風呂で全国に名の売れた町であること初めて知りました。そこで狂歌一首ひねって見ました。
『おもいきや 志賀の都は荒れにしを 雄琴の里に 性華咲くとは』
お寺参りの後精進おとしとは粋なスケジュールを組んだものでした。この国内研修の一週間は毎晩、議長、川崎一幸君と同室でした。その豪快な癖に驚いて時々鼻を撮むとほんの暫く止まりますが、又前にも増して高らかに鳴り響くので為す術もなく毎晩悩まされて、睡眠不足の為フラフラになって帰って参りました。此の川崎議長も故人となり今年十三回忌を迎えると聞いています。
羽田からモノレールで浜松町へ向いますが、今年又駅が一つ増えました。駅の名は天王州アイランドです。途中東京都下水道局の

森ヶ崎水処理場があり、「街と川きれいに保つ 下水道」と標語がかいてありますが、「汚水溜めには 海あればこそ」と書き足したいところです。夏は茶色に濁った汚い海となる東京湾、当初に杜撰な方式を採用した行政の不手際が、今後も長く尾を引くものと思ひます。
五年程前から東京都内に宿泊しますと、朝五時か六時頃起きて都内を七、八軒歩きました。タクシーや地下鉄で移動していた時と違って、いい体験を致しました。思いがけない古人の遺跡があつたり、又都内が桑の宝庫であることの発見も大変嬉しいことの一つでした。それ等が他府県で採取した桑と一緒に私の庭や山でスクスク育っています。
考えて見ますと、開業医のままで終わりますと、限られた地域社会の一部の人達しかお会い出来なかつた筈ですが、全国至る所で沢山の方々にお会い出来た事が、何物にも代え難い素晴らしい収穫であつたと思ひます。その反面経済的には恵まれなかつたので家内には随分苦労をかけたかもしれません。これから一生頭が上がりません。加齢と共に目が霞み耳も遠くなりましてたてども税務署の番付に乗る様な活躍は望めません。今年漸く特別養護老人ホームの設立許可が出

ましたので七月二十日起工式を行いました。来年四月から老人を収容することが出来ます。
町長としての後継者には去る七月四日、西川裕君が当選致しました。七月二十五日から新町長として敏腕を揮うことになりす。よき後継者を得て退任することの喜びは何にも喩え様がありません。必ずや町民皆様方のご期待に添えてくれるものと確信致しております。我が町の限りなき発展と皆様の御多幸を祈念申し上げ、今迄の御指導御声援に心から感謝申し上げ退任の挨拶と致します。

のセンターが完成しますと、昨年建設されたグリーンゲートとともに、今後の町の活性化に大いに役立つものと思ひます。
この日の式には、これが最後の大事な事となりました大車町長をはじめ、県事務所長、業者等約八十名が出席し神事を行い、建設中の安全を祈願しました。



西川町長就任挨拶

記録的な雨が降りました今年の梅雨も明けて、厳しい暑さが続く今日この頃ですが、町民の皆様におかれましては、益々御清栄のこととお喜び申し上げます。私こと、

この度の町長選挙におきまして、町民各位をはじめ、各方面より暖かい御支援を賜り、無投票初



当選の栄に浴し、津奈木町長の重責を担うこととなりました。もとより非才の身ではありますが、誠心誠意全力を傾注して努力してゆく所存でございますので、よろしくご指導ご鞭撻のほどをお願い致します。

さて、最近の世界状況の激変には驚くばかりで戸惑いさえ感じますが、正に歴史は読むものではなく、観るものなのだとこの感を深く致しました。日本国内に目を転じまして、政治・経済共に混乱を極めております。

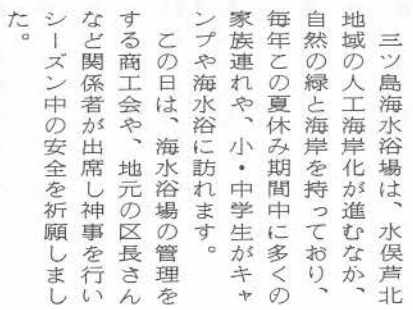
政治改革に端を発した衆議院の解散、新党の旗上げと日本の政治の先行きは、はなはだ不透明になってきました。こういう状況の時にこそ、正に地方の真価が問われてくるのだと思ひます。幸いにも、今回、町民各位の御理解と御支援の下に、一致団結して私に信任いただきましたことは、町の恥取りをお任せいただきました私にとって、大きな力の源となり、深く感謝を申し上げます。二十一年間の六車町政の実績を踏まえ、二十一世紀へ向けて、さらなる町の飛躍を求め、確たる理念を持って、町政を担うべきだと念じております。そのことに思ひを致すとき、背負う荷物の大きさに身の引き締まる思いがいたします。町政をお預りするにあたって、私の町づくりに対する基本理念を申し上げます。町民の皆様御理解御支援をいたしたいと思ひます。将来の町づくりに向けて三つのテーマを掲げました。

一、誇りを持って住める町
一、後世に残せる美しい町
一、多くの人が訪れてくれる町
この三点が津奈木町の将来像になる為には個々の具体策を実現させてゆきたいと考えています。当面、来春完成予定の温泉センターを核に、多くの町民に津奈木町を訪れていただき、その波及効果による経済活動の充実を計る施策に重点を置いてゆきたいと思ひます。その他、広域農道・広域基幹林道の整備、漁港整備、農村基盤整備等々の早期完成へ向けて努力してゆくことは勿論であります。
高度経済成長後の物質万能の時代が過ぎて、国民の皆様が心の豊かさや本物を求める時代になりました。まさに津奈木町の「緑と彫刻のある町づくり」は時代の先取りをしていった施策と自負しております。果の内外からも大きな注目を集め、素晴らしい彫刻群は津奈木町の顔として定着してきています。さらに将来的に美術館の建設を実現し、美術の町としての面目を施してゆきたいと思ひます。そして温泉センター・美術館・物産ギャラリー・重盤岩・彫刻めぐり等々と連動した観光コースとして定着してゆけたらと願ひを持っております。
水俣病汚染地域の当町としま

しては、外に向けては文化の町としてのイメージアップを図り、町内に対しては住民検診システムのさらなる充実を図るとともに、お年寄りや子供達、身体の不自由な方々が利用しやすいような諸施設へのやさしい配慮等も考えてゆくべきでしょう。
又、当町の経済基盤の土台である農林漁業の充実拡大は大きな課題であります。生産現場への配慮ばかりでなく、今後流通システムへの行政側の協力ということも大いに考えてゆくべきでしょう。町外へ向けて津奈木町のアピールをしてゆくための大きな行政と、町民の方々の毎日の生活に密接にかかわるきめ細かな小さな行政サービスと、この両輪をうまく運動させて、バランスのとれた行政を目指してゆきたいと思ひております。
多くの皆様方のご意見を伺いながら、「イキイキとした津奈木町」を創るために邁進してゆく所存ですので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

赤崎婦人会25年間の清掃
去る七月二十五日、赤崎地区の海岸の清掃作業が行われました。この作業は、赤崎の婦人会の呼び掛けで、毎年この時期に全世帯参加で行われるもので、昭和四十四年から始まり今年で二十五回目を迎えたものです。
この日は、早朝から約二百五十名の人たちが一斉に海岸に出て、燃えるゴミはその場で燃やし燃えないゴミは処理場まで運んだり、一生懸命作業しておられました。
会長の森山さんの話によると以前よりも大分ゴミの量は減っ

三ツ島海水浴場
海開き
去る七月十六日、三ツ島海水浴場の海開きが行われました。三ツ島海水浴場は、水俣市北地域の人工海岸化が進むなか、自然の緑と海岸を持っており、毎年この夏休み期間中に多くの家族連れや、小・中学生がキャンプや海水浴に訪れます。
この日は、海水浴場の管理をする商工会や、地元の方など関係者が出席し神事を行いシーズン中の安全を祈願しました。
たのこと、このような長年にわたる地道な活動が、環境美化に対する意識を高めた結果ではないでしょうか。
ゴミを集める
婦人会の皆さん



有難うございます

赤崎婦人会25年間の清掃

去る七月二十五日、赤崎地区の海岸の清掃作業が行われました。この作業は、赤崎の婦人会の呼び掛けで、毎年この時期に全世帯参加で行われるもので、昭和四十四年から始まり今年で二十五回目を迎えたものです。

この日は、早朝から約二百五十名の人たちが一斉に海岸に出て、燃えるゴミはその場で燃やし燃えないゴミは処理場まで運んだり、一生懸命作業しておられました。



ゴミを集める
婦人会の皆さん

グリーンゲートファミリーより
自分流・町づくりを探る 最終回

七回に亘つてお伝えしました町を真剣に考える男たちの本根の語り合い。今回で一応終了いたします。

最終ランナーは仕事に、スポーツに、町づくりにねばり強く走り続ける宮嶋さんです。

津奈木町に帰郷して十数年になります。が、町を離れて暮らしている、我がふるさとの素晴らしさや、ぬくもりのある人々が思い出されることがあります。これは私ばかりではなく、多くの人が経験されたことだと思います。

私も、グリーンゲイトラファミリーの一員として、微力ながら活動できることを、会長を始め皆さんに感謝しています。

現在、目まぐるしく変化していく時代の中で、町民としてど



宮嶋 弘行さん

話には変わります
が、数年前に聞いた話を紹介します。
『ある国で見る
に見られない女性
を、国一番の女性
に成し遂げたと言
う話です。それ
はどうしたかと言
うと、その女性を
目の前において毎
する。「微」微笑する。
こんなイメージで津奈木町は
いい町なんだ／素晴らしい町な
んだ／みんないい人達ばかりな
んだ／と、皆さんでお互い言い
合って、お互いその気になり、
本当にそうなることを信じたい
と思います。ぜひ皆さんでプラ
スイメージを描き、実現させよ
うではありませんか！

下記の表は、本町に住民登録され、平成4年7月28日より平成5年7月29日までに(届出のあった)お亡くなりになった方々です。

謹んで哀悼の意を表します

地区	死亡者氏名	死亡年月日	世帯主名 (喪主)	地区	死亡者氏名	死亡年月日	世帯主名 (喪主)
竹中	農山	4.11. 7	進工	古内	永坂	4.12.19	永坂
"	添崎	4.11. 8	エ信子	"	五荒	4.12.12	原下
"	福正	4.11.24	ミツ政	"	嶋川	5. 3.11	嶋川
染	森下	5. 1.24	政順	上	福松	5. 3.11	福松
"	下川	5. 2. 4	達明	福	嶋山	5. 6.17	嶋山
"	鶴林	5. 1.23	辰一	"	崎山	4. 7.31	崎山
"	片桐	5. 2.25	藤岡	平	崎山	4.12. 3	崎山
"	伊藤	5. 3. 7	文一	平	崎山	5. 7.10	崎山
町	岩北	5. 4. 1	ジクノ	日	野吉	4.10.14	野吉
"	山本	5. 9.28	エ守	"	津々	5. 2.18	津々
"	演本	5. 3. 9	子水	"	森本	4.10.24	森本
"	演本	4. 9.30	ヨシ子	"	森本	4.12.27	森本
"	川崎	4.11. 1	清房	"	森本	5. 1. 3	森本
"	船西	5. 2. 4	初政	"	高岩	5. 6.17	高岩
古	葦川	5. 4. 7	春	日	諫林	4. 4.23	諫林
"	浦添	4. 8. 8	哲	"	吉永	4. 8. 3	吉永
"	山本	4.12.17	清嘉	"	佐々	4.10.18	佐々
"	野立	5. 2.23	文康	"	林山	4.11. 5	林山
"	野立	5. 3.27	次郎	"	倉石	4.11.29	倉石
"	野立	5. 4.27	光一	"		5. 3.1	
大	真野	4.10.16	範彦	"		5. 4.19	
"	真野	5. 3.21	郎次	"		5. 4.26	
"	真野	5. 4. 7	モ美	"		5. 7. 3	
"	真野	5. 7.13		小津		4.10. 9	
"	真野	5. 7.22		"		4.12.21	
中	農川	4.11.18		"		5. 6.13	
"		5. 2.12					

暮らしの情報

衛生係より

平成五年度基本健康診査

一、日程 次のとおり

期 日	曜 日	受付時間	会 場	該当地区名
8月3日	火	7:00～ 11:00 13:00～ 15:00	平 国 会 館	平国上・福浦
8月4日	水		〃	平国下・当
8月5日	木		赤崎小学校体育館	日 津
8月6日	金		〃	日 津
8月19日	木		文化センター	竹中・桑竹
8月20日	金		〃	中尾・上下門
8月21日	土		〃	古中尾・倉谷
8月22日	日		〃	浜崎・内野・川内
8月26日	木		改善センター	桧戸・大泊
8月27日	金		〃	新川・古川
8月28日	土	〃	明中・津奈木・丸間	
8月29日	日	〃	〃	

二、対象者 満四十歳以上の人
(健康管理事業で、満二十五歳から三十九歳までの人も

三、健診料 全員無料。

四、内容

①問診 ②換尿 ③身体測定・皮
脂厚測定 ④血圧測定 ⑤血液檢
査 ⑥心電図検査 ⑦眼底検査 ⑧
診察 ⑨健康相談

※今年度はこれらに加えて、受診者全員に、超音波検査を実施します。

農政係より

平成五年度、水田転作の第一回目の現地確認調査を来る八月三日から六日までの日程で実施しますので、先に各地区水田転作推進員（農家組合長）から配布された「転作確認表（立札）」をまだ転作水田に立てておられない水田農家の方は八月二日まで、該当水田の見やすい位置に立てて下さい。

なお、調査時に確認票がない場合には、第二回目の確認調査時に立ち合っていたき、補助金の交付が遅れることになりま

福祉係より

「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者問題啓発ポスター」の募集

I 募集の方法

① 心の輪を広げる体験作文

(一) 募集テーマ

出会い、ふれあい、心の輪、◇学校、職場、地域でのあなたの体験を広げよう◇

(二) 応募資格

小学生以上（盲学校、聾学校並びに養護学校の小

共同募金会より

去る七月十二日発生した「北海道南西沖地震」は奥尻町を中心とした道内各地に大きな被害をもたらしました。

その為、北海道共同募金会では、被災者への義援金を募集することにしました。

つきましては、本町でも、この災害助けあい運動に、積極的に協力したいと思っておりますので、出費多端な折とは存じますが、国民たすけあいの観点からどうかご協力のほど、宜しくお願ひします。

尚、一万円以上の寄附金には、
税制上の特典がありますので、
その場合は津奈木町共同募金会

八代宮林署より

八代営林署では、緑のオーナーを募集しています。

緑のオーナー制度とは、一般の方々と国有林の間で、育成途上のスギ、ヒノキなどの人口林について、成林し伐採するまでの間、共同で育てる契約で、一口当たり五〇万円又は二五万円を負担していただき、契約で定めた時期に立木を販売し、その収益を分配する制度です。

「国土緑化を通じて地球環境の保全に寄与したい方」、「子供や孫に緑の財産を残したい方」などに最適です。

◎宇土郡不知火町

樹種	ヒノキ
林年	三八〜三九年
契約期間	一六年

一口当り	五〇万円
募集口数	三一口
◎芦北郡芦北町	
樹種	スギ・ヒノキ
林年	二六年
契約期間	二五年
一口当り	二五万円
募集口数	七四口
お問合わせは、	八代営林署総務課
○九六五―	三三―三八三

まで。